

府 監 第 699 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長

府中市長 伊 藤 吉 和



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のあったこのことについて、
別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

広島県府中市

国全体に及ぶ高速道路網の早期確立

国土全体が一定の密度の高速道路網によってカバーされていることは、経済性や採算性等を論ずる以前の、日本の国土であるための条件です。この道路網が欠落することは地方にとって重大な問題であり、都市間競争の時代に生き残ることが非常に厳しくなります。ぜひ、地方を切捨てることなく国の責任において着実な高速道路網の整備を早期にお願いいたします。

もっと地方に財源・裁量・権限を

これからの道路行政は、国と地方の役割分担を明確にし、それぞれが責任を持った整備を行うことが重要と考えます。具体には、国は国土の根幹となる道路整備を着実にを行い、地方は、地域の実情にあった効率的な整備を着実に進めるべきです。

このためには、もっと自由に使える財源と裁量や権限の委譲による弾力的な運用により、地方の特色ある道路づくりが行えるようお願いいたします。

また、地方にとっては、元々他政策に比べ道路整備自体の優先度が高いため、例え制度が如何に変化しようと十分な財源の確保を強く要望いたします。

○ 現状

急速な市街化に対し、府中市の都市基盤整備は追いつくことができなかった。現在でも都市基盤は不十分な状況にあり、産業活動、市民生活両面において大きな課題を投げかけている。

また、府中市は備後圏内陸部の中心都市でありながら、広域的な観点からの都市機能が欠如している。

さらに、近年においては、人口減少、少子高齢化、生活圏の拡大に伴う自家用車の依存、中心市街地の空洞化や財政の逼迫などまちづくりを取り巻く社会情勢が大きく変化している。

そこで、府中市では平成19年5月に中心市街地活性化基本計画を策定し、快適に住み続けられる集約型都市を目指したまちづくりを邁進している。

この実現のためにも IC アクセス強化や生活幹線道路ネットワークの形成が望まれている。

○ 課題

まちづくりの課題

- 本格的な人口減少時代、超高齢化社会への突入
- 低密度に広がった拡散型市街地
- マイカーの依存率が高い
- 脆弱な都市基盤整備
- 中心市街地の空洞化
- 産業の停滞

道路づくりに関する課題

- 脆弱な高速アクセス機能
- 不十分な生活幹線道路ネットワーク
- 逼迫した財政

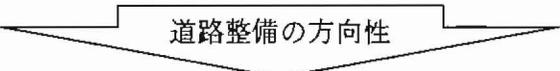
府中市が目指す新しいまちづくりの方向性

都市機能の集約と道路ネットワークの整備

～これからの人口減少時代に対応し次の世代も活力にあふれたまちであるために～

これまでの政策は、人口は増加し、都市は成長・拡大することを前提としていました。本格的な人口減少時代を迎えた今、高齢者でも暮らしやすく、ものづくり産業の活力やまちの魅力を維持・発展させていくためには、これまでの政策を切り替え、市街地を縮小する時代へと足を踏み入れることが必要です。

ただし、ここで言う「縮小」とは衰退ではありません。府中市の目指す「縮小」とは、生活に必要な機能やまちの魅力がぎゅっと「集約化」され、その活力がいっそう輝きだすようなまちの質的な成長を目指すものである。



道路整備の方向性

(1) 「生活中心街（生活拠点の整備）」の育成のための道路整備

日常的な買い物のできる店舗、行政機関、福祉施設、学校、郵便局、文化施設等の生活支援機能が集積した、まちの「生活中心街」として育成するための道路整備が必要である。

(2) 「既存集落」と「生活中心街」の結びつきの維持・強化のための道路整備

集約化された唯一の都心と既存の集落を結ぶ道路は、拡大型のまちづくりを行っていた時代よりも格段にその重要性を増している。既存集落における生活の利便性の維持・確保や都市間を結ぶ生活幹線道路ネットワークの形成することが必要である。

(3) 高速アクセス確保のための道路整備

府中市の都市骨格を形成し、市街地と広域ネットワークとを連結する南北軸及び東西軸の整備を早急に進める必要がある。特に市街地の南北軸はこれまで全く未整備であり、あらゆる努力を傾注して、一刻も早い実現に専念すべきである。

なお、これらの実現のために、都市計画手続きの迅速化や道路構造令の弾力的な運用を合わせてお願いいたします。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

広島県府中市

| ○重点事項 | ○代表事例 | ○期待する効果や評価等 | |
|--|------------------------------------|--|--|
| <p>高速アクセス確保のための道路整備</p> | <p>南北道路、国道 486 号、地域高規格道路</p> | <p>コンパクトに集約された府中市中心部と IC 等を結ぶ高速アクセスは、地方都市が生き残るためのライフラインである。また、府中市の活力の源でもある産業の維持・発展に大きく寄与する。さらに道路は府中市の生活幹線道路ネットワークとしても機能するためその期待度は高い。</p> | |
| <p>「既存集落」と「生活中心街」の結びつきの維持・強化のための道路整備</p> | <p>国道 486 号、主要地方道府中上下線、広谷出口線 等</p> | <p>府中駅周辺の交通結節点とあわせて既存集落をアクセスする主要道路の維持・強化する道路整備により、集落を含めた都市の持続性が期待できる。なお、こうした道路には維持管理にも交付金等による支援制度が必要ではないか。</p> | |
| <p>生活中心街（生活拠点の整備）の育成のための道路整備</p> | <p>朝日上通り線、（仮）駅前線 等</p> | <p>中心市街地の「景観」「利便性」「安全」「空間」等として多様な機能を有する道路は人口減少のダム機能としての一翼も担う。</p> | |